

梨病害虫発生状況調査速報

NOSAI ひょうご 豊岡事務所
豊岡農業改良普及センター
JAたじま豊岡営農生活センター

調査日：令和5年5月22日（月）

1 調査項目

表-1

調査項目	黒斑病	黒星病	赤星病	サビダニ類	ハダニ類	アブラムシ	果実径
調査標本数	100 葉	100 葉	100 葉	新梢 100 本	20 葉	新梢 100 本	20 果

2 調査結果

(1) 黒斑病（調査結果 2～20%）

黒斑病に罹病した葉が見られました。今後の気温上昇により、菌の飛散量が増加することが予想されます。発生があった園地では、発生に注意し、防除を徹底しましょう。

(2) 黒星病（調査結果 0%）、赤星病（調査結果 0～2%）

黒星病に罹患した葉は見当たりませんでした。赤星病に罹病した葉は若干ありました。様々な品種が混在している園地においては、赤星病の発生に注意してください。

(3) ニセナシサビダニ（調査結果：0%）

ニセナシサビダニは見られませんでした。新梢の発育抑制につながる重要害虫です。5月上旬は低密度ですが、このあと6月上旬には、増殖します。そのため防除は、この時期がポイントです。

（ニセナシサビダニの特徴と防除）

- ①体長は、0.2 mm程度しかないので、肉眼で見ることはできません。
- ②防除適期は、5月上旬の低密度期と6月上旬の増殖時期です。
- ③徒長枝の先端付近の葉や枝に多く寄生するため、そこを狙って防除してください。

(4) ハダニ類（調査結果 0～0.2匹）

ハダニ類の発生が若干見られました。ハダニ類の特徴として、高温・乾燥条件で多発する傾向があります。今後は、気温が上昇し、発生量も増えます。6月の中旬までに、ニセナシサビダニと一緒に防除しましょう。この時期の発生抑制が、今年の発生量を大きく左右します。一枚の葉に2匹以上見かけるようになったら、すぐに防除しましょう。

(5) アブラムシ類（調査結果 0～1%）

アブラムシ類の発生が若干見られました。吸汁により葉を巻き込むと、防除効果が低下するため、発見しましたら早期防除を徹底してください。

(6) 果実の生育について

表-2

調査地区		平均果実径 (mm)	
		R5.5	R4.5
豊岡	金剛寺	29.5	26.1
城崎	飯谷	24.9	23.1
竹野	濱須井	27.6	23.8
平均		27.3	24.3

果実の肥大は、どの調査園地でも昨年より早くなっています。平年より開花が早く、過去5年と比べても、最も早い生育となっています。

3 気象情報

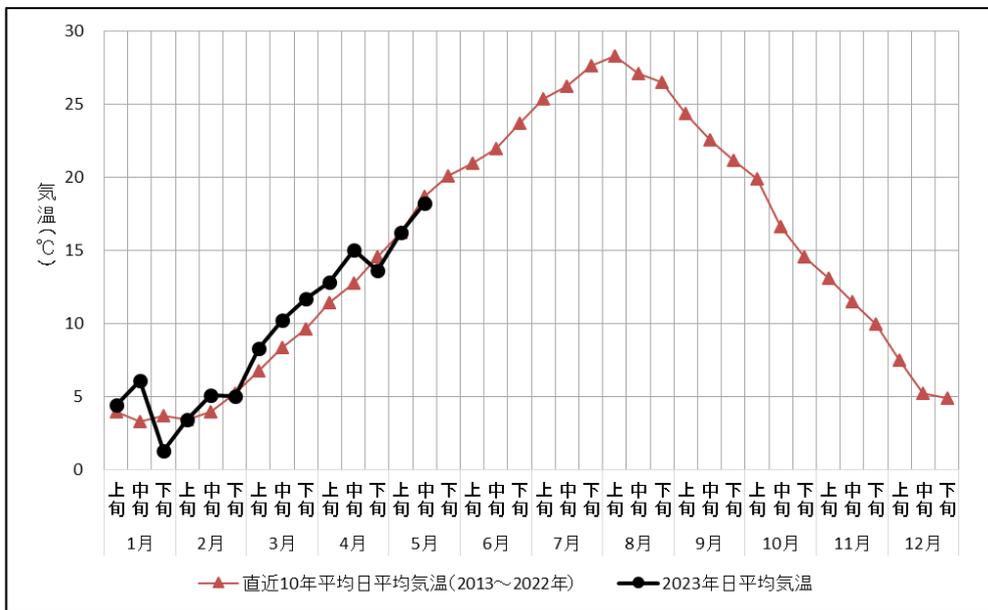


図-1 直近10年平均(2013~2022年)、2023年の日平均気温比較(豊岡)

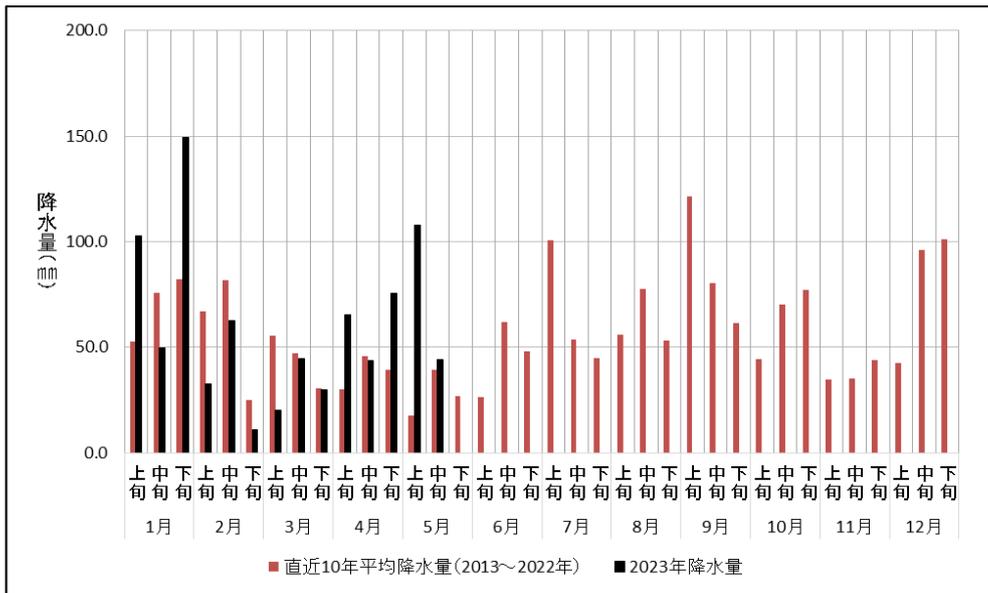


図-2 直近10年平均(2013~2022年)、2023年の降水量比較(豊岡)

～気象と生育について～

平均気温について、3月上旬から4月中旬にかけて、平年を上回る旬が続きました。4月下旬は平年より低くなりましたが、その後5月中旬にかけて平年並みとなりました。

降水量については、1月上旬と下旬で例年の約2倍となり、5月上旬は例年を大きく上回りました。

今年は4月上旬頃に降雹があり、一部の園地では幼果に傷が付くなどの被害が発生しました。

毎年、異常気象だと報道されます。気象情報に、注意してください。

☆薬剤、防除の詳しいお問合せ・ご相談は・・・

豊岡農業改良普及センター (TEL 26-3705)
JAたじま豊岡営農生活センター (TEL 24-3641)

☆共済事故(病害虫、気象上の被害等)の発生は・・・

NOSAI ひょうご 豊岡事務所 (TEL 42-4133)